

刊夕 日八十月三



定価 一ヶ月五十五銭 郵費五銭  
 廣告料 五號十二字第一行五十五銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 發行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

鈴木積善氏の

想ひ出て話 (1)

森 久吉

▽ △

これは笑へないエピソードであります。先生の懺悔話の一つでも申しませうか、先生はいつも家庭人としての自分を申す。それひつゞけてゐた事です。それは特に子供さんに對し自分が父としての態度なので

朝出て夜をおそくでなくては歸らな。同じ家にながら子供さんは父の顔を見ず、父は子供の寝姿より知らない日長い事つゞいたある日の事、暇を作つて一日子供さんのよき父と

初めて我が國に市制が施行された明治二十二年には僅に三十一市だったが現在

は百二十五市驚くべき發展振りをした。なつて遊んであげて、その夕方用事の爲に洋服に着換へはじめると長女の篤子ちゃんがお父ちゃん、此度いつ歸る?』とは家に歸つて来てあつ子ちゃんを遊んで

呉れるかの事でせう。いつ「ちやいや」といつてよく泣く子はあるが「いつ歸る」には參つたよ。これぢや全くお父さん免職だ」と淋しく笑つてをられた事がありました。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁・ねぎ 小付 富貴豆  
 【晝】玉子目玉やき 揚げパン 添へ紅茶レモン  
 【晚】照焼 小かぶあちやき 酢の物 かき さうり 二杯酢

教化事業に寧日なき先生にこのなやみのあつた事は誠に同情に耐へない次第です。 終



浅春旬抄

飯田 夕草

西小屋に山家の子らのつどひけり

西小屋や山家の子らの煩冠

そこかして西小屋の跡あり

にけり

人通り鶯餅に春めさぬ

春の雪幼なじみとつれ立ちぬ

たんぼの葉ばかりなるを

看護婦急派  
 の求めに應  
 じます  
 平町南町  
 平看護婦會  
 電話三〇七

見たりけり  
 彼岸近き庭の小松は枯れにけり  
 はるかなる旅路の人よ春めさぬ  
 御佛を拜せる時も冷えにけり  
 草萌えて童女の姿うるはし

短歌  
 内村 英

青いシグナルの燈は霧の中にある、私の體も夜霧に抱擁されてゐる  
 今宵も冷たい辨當の飯に甘さを感ずる。夜業のある日はインクの消えない指先に、私は昔を想ふ、そつと母の匂を感ずる

一冊の代金で  
 御希望通りな  
 五冊の雑誌が  
 自由に讀める  
 川崎 文庫  
 電話六三〇番  
 (申込次第規則書進呈)

藤沼醫院  
 平町・紺屋町  
 電話五〇七番

ランドセル

●全部玉付の石板が楽に入ります●

|      |      |
|------|------|
| 大型   | 0.95 |
| 學修院型 | 1.5  |
| 〃    | 2.00 |
| 〃    | 3.00 |
| 〃    | 5.5  |

セビヤと黒各種

カバンとポーシ  
 手提カバン

●補助運動靴景品は賣出中●

ツルヤ

平四・電一四〇

外科  
 門專  
 科線光X  
 上田外科醫院  
 平町南町  
 電話一九二番

正確な  
 眼鏡は……當店へ  
 特價販賣  
 獨逸ユーバンネ  
 プンクトロヒレンズ 特約店  
 トリックレンズ亂視其他  
 各種豊富に取揃へてあります

高久病院  
 院長 醫學士 高久 忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
 平町田町 電話五一三番  
 内科小兒科  
 耳鼻咽喉科  
 外科花柳病科  
 レントゲン科

貴方の御家庭に  
 お手不足は御座いませんか  
 本會を御利用下さい  
 直に家政婦を派出します  
 親切 料金は極めて低廉で  
 町寧 妊産婦の御家庭 お留守 居番  
 御病人の付添 炊事や雑用 年寄やお子さんの付添  
 派出多忙に付會員至急募集  
 平町紺屋町二(電話二二三番)  
 上原家政婦會  
 會主 産婆 上原通子

かまぼこ  
 製造  
 平町一丁目  
 お惣菜用  
 さつま揚  
 吉原揚  
 不器用  
 電話一四一番

不器用  
 電話一四一番

### 月曜是非

#### 平庶民金庫の新時代に望む

平庶民金庫は、現在の諸橋組合長が就任後、大いに飛躍的發展を遂げ、今では平町に於ける金融の中心機關として一層重責を加ふるに至つた。

平町は彼の財界バニツクに際しその餘波を蒙つて本店銀行は全く根こそぎにされたが如き感呈し、取引者は金融界の迷ひ兒として街頭に投げ出された爾來平町の一隅に厄介物視されて一部の人の間にのみより外には顧る者のなかつた信用組合が勃然と擡頭し、漸次その趣旨の普及と共に、町民の間に、益々その根を張つて、必須の機關たる資格を名實共に具有するに至つたものである。

今日吾人の組合に庶希する處は、その本来の使命に基いて、飽迄も組合員に對する親切な財的相互援助の中心たらしめ度い事である。夫れには据置期間の延長、利率の低下、貸付信用の擴大、等々種々の註文がある。

殊に肝心な組合員が貧乏に窮せ衰えて居る反面に、組合が遊び金を抱いて腹膨らまして居るが如きは一種の奇觀とも云ふべきであり此の跛行的光景が緩和されざる限り、組合の眞價を發揚し得たりとは斷じ難い。然るに此の奇現象が過し

て徒らに組合の基礎の強固さを誇るが如きは、組合の根幹要素たる組合員のあるのを忘れたる仕儀と云ふべきである。此間の調和を如何にして果すべきか、是等は悉く擧げて、先般改選された總代諸君の意圖に俟ち度いと思ふ。

## 火の元

### 徹底的の警戒

#### 火災頻發に鑑みて

平署では今月に入り急に火災が各所に頻發するので、此際徹底的に防火思想普及の要ありとし来る廿二日を期して全管内の消防組火防組はもとより少年消防隊まで總動員して各町村に宣傳ポスターやピラ等を配布する外各戸の竈其他の火の元検査を嚴重執行して防火宣傳に努める由

## 平刑務所の

### 人々が罹災地へ

#### 本社を通じて金一封

常に世に叛く人々とのみ多くの交渉を持つて社會の暗黒面に直面し、然もその保護善導に導念してゐる丈に慈悲温愛の情け深い平刑務所の人々は今回大野大浦の大火に裸一貫となり焼け出された罹災者の慘情に痛くも心を打たれて、早速所長吉岡董太郎氏を始め

## 同情金を

### 支會が取纏む

既報石城町村長支會は去る十五日午後一時より平町會議事堂に總會を開き大野、大浦兩村の大火に未だ見舞金を贈ぬ町村が郡下に二十四ヶ町村あるので夫等の一町村から二十圓宛計四百八十圓の同情金を取纏めて贈る事に決した

## 工業組合の設立を

### 商工會の肝煎りて協議

平町商工業發展に唯一の指針として顯著なる實績をあげつゝある平商工會にては當地方工業組合の不振を遺憾とし縣商工課益田佐藤兩氏を招き十六日午前十時よりマルトモホールに於て工業組合設立に關する懇談會を開催、各代表工業者參集組合設立による發展策に關し種々協議し午後一時散會した參會者左の通り(平

## 嬉しく悲しく……

### 母校へ左様なら

#### けふ磐女の卒業式

既報一縣立磐城高等女學校の卒業式は本日午前十時より舉行、正木校長及び知事代理の告辭、來賓代表青沼平町長、同窓會代表大和田コト子夫人の祝辭あつて生徒總代三年根本久子さんが送辭を述べ、卒業生總代高木幸子さんの答辭等の順序に式は進行した、優等生は

- 同 田名綱キミ
- 江名 田村 タキ
- 平町 樋口 君子
- 同 松浦 みき
- 湯本 江尻惠美子
- 大井川登美
- 岡田 澄
- 湯本 木村 昭
- 江名 作山 文子
- 四倉 佐藤ミヨ子
- 大津 柴田 明子
- 同 鈴木 サタ
- 平町 高木 幸子

- 江尻惠美子 ◎大梨玉枝
- 大順賀キム ◎大高綾子
- 大塚久江 大原君子 大
- 井川登美 ◎岡田澄 緒
- 形敬子 小高良子 小野
- ユウ 福川アサ 折笠浦
- 子 加古静子 柏原和子
- ◎加藤サタ ◎加藤ミヨ
- 子 ◎上遠野ミサオ 金
- 成サク 金成静江 金成
- ミヤ 神谷敬子 川又タ
- ケ 菊地姪子 木田皖子
- 木村昭 木村京子 木村
- マサ ◎木村良子 草野
- きよ 熊澤岩子 來栖秋
- 子 國井キヨ ◎國府田
- リウ子 ◎河野イチ ◎
- ◎古田部サタ 小林久子
- 小林信子 小林文子 佐
- 伯ジュン 齊藤キン子
- ◎齊藤ハル ◎齊藤幸子
- ◎酒井ミサ子 坂本綾子
- 坂本清子 佐川レン 鷹
- イソ子 佐久間キミ 作
- 山久子 作山文子 佐藤
- 藤江 佐藤喜代子 ☆佐
- 藤ミヨ子 ◎澤テウ ◎
- 澤口かおる 三瓶タカ
- 志賀吉 志賀千代 志賀
- 照子 志賀美都子 志賀
- 幸子 四家久子 柴田明
- 子 ◎白土智恵子 白土
- 登美 菅波カネ 鈴木愛
- 子 鈴木朝子 鈴木ウタ
- 子 鈴木榮子 鈴木カネ
- 子 鈴木サタ 鈴木シゲ
- 子 鈴木静 鈴木タカ子
- 鈴木ハツエ 鈴木英子
- ◎鈴木光 鈴木禮子 芹
- 澤藤子 ◎大樂明 高岡
- サク ◎高木キミ子 高
- 木シメ ◎高木幸子 ◎
- 高野喜代 高木稔子 高
- 橋白合 ◎高橋美津子
- 田口喜久 田崎富美子
- 田代トシ 橋ヒサ ◎田
- 名綱キミ 玉橋房子 田
- 村サナ ◎田村タキ ◎
- 樽石ハナ 塚本イク 鶴
- 田文子 寺島ミツ 戸石
- イト子 土居瑞枝 ◎遠
- 山セン 豊田トシ 中井
- ミネ子 ◎長岡キヌ 中
- 野雅子 ◎長野のぶ ◎
- 中山アサ 中山カズ子
- 永井タメ子 ◎永山アヤ
- 子 新妻サタ 新妻美枝
- 新妻美恵子 ◎西内キヌ
- 子 西山禎子 野村智子
- ◎芳賀キヨ子 芳賀静
- ◎橋本操 長谷川サダ
- 長谷川シズ子 長谷川タ
- イ子 樋口君子 平松ヨ
- シ 蛭田ミトリ ◎廣田
- ミヨ 福來ふく ◎太タ
- カ ◎蓬來和子 ◎本庄
- はま子 ◎本田美代 正
- 木キミ 増井マサ 増子
- 千枝子 松浦みき 松崎
- 恒子 ◎松本成子 松本
- タケ子 松本光子 馬目
- 玉子 馬目ヤス子 皆川
- 唯子 宮下トキ 宗像ハ
- ツ 村岡文枝 ◎元吉喜
- 代 矢吹ナカ ◎矢部ヒ
- デ 山内タカ 山形朝子
- 山田中世 ◎山野邊フミ
- ◎山野邊松子 横内和
- 吉田倫子 ◎吉成幸子
- 吉野ヒサ子 吉村清子
- ◎渡邊コト ◎渡邊サタ
- ◎渡邊トキ子 渡邊ミサ
- 藁谷タケ

## 市原醫院

平。田町 電話一四四番

# 夜の山道に

## 女將の首を絞め

### 百十圓を強奪す

上玉の世話と偽いて

富岡署員が検挙した

内郷村字綴料理店みどり事  
村上西治方へ去る十六日午  
前九時頃双葉郡熊町村吉田  
幸作(二)が上玉の酌婦を世  
話すると稱し同家の女將イ  
チ(三)を連れ出し双葉郡夜  
の森驛に下車、午後八時頃  
熊町字坂ノ下地内山道を通  
行中突然イチを締め付け所  
持して居た百十圓を強奪し  
て逃走したのでイチは青く  
なつて其筋へ届出たので十  
七日朝四倉驛前旅館松盛館  
に投宿高飛せんとする處を

## 東部電の

### 秋山氏榮轉

東部電力平町営業所主任秋  
山徳治氏は今回水戸支店長  
に榮轉した同氏は勤務振  
圓満にて人格手腕共に多大  
の信頼を持して居た丈に榮  
轉を喜ぶ反面に別れを惜し  
まれて居る。後任は郡山支  
店庶務會計主任中島正雄氏  
で今月末赴任する

## 身賣りする

### 卒業女児を

#### 平職業紹介所が 防止警戒に努む

平職業紹介所にては農村婦  
女子の身賣防止に關し縣社  
會課と協力し種々對策を構  
じ救出斜旋に努めて居るが  
而も本月末小學校を卒業す  
る女兒童中には家庭の困窮  
のため身賣りを餘儀なく  
される者があり得る觀察に  
より連絡小學校の教職員及  
び方面委員等と共に是れを  
警戒防止することになつた

## 御親閲の記念

石城  
郡教育會にては來月三日の

校室本利助氏の記念講演が  
ある

## 道を聴く

玉川校の納税宣傳

玉川小學校は一般家庭の納  
税思想普及の爲め小學生か  
ら左記の如き宣傳標語及び  
作文を募り是を印刷に附し  
て全村各戸に配布した  
△子供は勉強親は納税  
尋五鈴木義男  
△そろそろ切符そろ切符  
役場に急げ第一に  
早く納めりや心は晴れる  
善は急げだそら急げ  
△納税すませば心は晴れ

## 書食の焚火から

### 公有林十町焼く

三坂村大字上三坂字山神前  
一六一地内公有林より昨十  
七日午後二時頃發火山林十  
町歩を焼いて同三時鎮火し  
たが原因は同字居住製炭業  
大友好彦(三)が書食の焚火  
を残して他處に出掛た爲め  
である

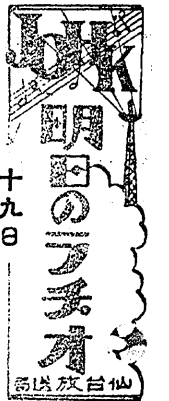
第二校生見學 平第  
二小學校高等科卒業生百三

## 北滿の露とささえた

### 太平伍長の遺骨が

明日午後一時平驛を通過

既報北滿の野に匪賊討伐中  
名譽の戦死を遂げた草野村  
出身歩兵伍長大平正二氏の



今晩も明日も北  
西の曇後天氣良  
くなる

## 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間  
名作物語 寶島東京放送  
童謡研究会  
後六、二五 基礎英語講座  
(二四)岡倉由三郎  
後七、三〇 講演 東京帝  
大教授醫學博士皆川米次

## 明日の部

後八、〇〇 管絃橋日本放  
送交響樂團  
後八、三〇 歌謡曲 山里  
せつ子他  
後八、五五 常磐津 常磐  
津歌男太夫他  
後九、三〇 時報 ニュー  
ス 氣象通報 番組豫告

## 中堅講習

### 修得氏名

本郡農會主催第七回中堅農  
民講習會の受講者九十五名  
の證書授與式は來る廿一日  
午前十時より團體事務所樓  
上で行はれるが修了者は左  
記の如く男九十名、女五名  
である

(泉)推名徳一郎(渡邊)鈴  
木政雄 江尻頼雄 小野  
政輝 根本寛 粒來宗一  
(植田)小宅勇 八代務  
大平岩雄 八代繁徳 希

## 衣類や夜具類を

愛國婦人會員が罹災者へ

平愛國婦人會は大野大浦兩  
村大火の罹災者の爲め去る  
十六日より本十八日迄全員  
出動慰問品を募集、衣類寝  
具等約二百餘点に及んだの  
で明日直に發送すると

## 自動車協會役員

自動車協會平支部は十五日

## 御會葬御禮

昭和十年三月十八日

山崎 一郎

前七、〇一 基礎下イ  
講座廿八三三 吉兵衛  
前七、三〇 朝の修養「詩  
經講話」(終)鹽谷温  
前九、〇〇 衛生メモ  
前一〇、三〇 家庭講座  
「農家の衛生」高野六郎  
〇〇五尺八 合奏青波  
海北原篁山他  
後二、〇〇 筆曲春の景色  
榎城護他  
後二、〇〇 母の時間「春  
体みめ過し方」成田千里  
後六、〇〇 子供の時間  
名作物語 寶島東京放送  
童謡研究会  
後六、二五 基礎英語講座  
(二四)岡倉由三郎  
後七、三〇 講演 東京帝  
大教授醫學博士皆川米次



# 明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島征史  
(監) 野口

第七十八回

百姓 牢 (四)

勿ね返さうとしたが、こんなところで反抗しては徒勞だと思つて大志賀市之丞は黙つて唇噛んだ。

二番役が立つてきた。長さ二尺位、巾五寸、厚さ八分位の板をのちにこれがキメ板といふものだとかわかつた提げて来て、大志賀の横に突立つた。

「こりや、野郎よつきけ日本一東京府傳馬町の牢とは此所のことだ、いゝか地辯に一丁目はあるけど二丁目のないところだ、よくおほえて置けよ」

と、いやに時代が、つた科白で申しさかせて、そのキメ板で大志賀の背中を二度續け打ちに打つた。

「おのれ!」  
大志賀は、聲を呑んで無念がつた。

二番役は、その血走つた眼をした大志賀のザンギリ頭をつかんで引起した。

「野郎、金を持つて来たか……?」

「金?」

「金といふても、のべ金ではないぞ、天下通におたからだ」

「これか」  
ポケットから財布をずるゝ引出して板敷のうへに投げた。  
「うむ、神妙だ……よいか地獄の沙汰も金次第といふことは、このことだよい座敷を興へてやらう」

「どうするのが」  
「紅毛服にかぎらず、所持の品々下帯のはてまで脱いでこれを着るんだ」  
「いつて非人の着るやうな縲衣を突きつけた。」



苦笑に似たものが、大志賀の口邊にうかんだ。

「おい」  
高い座席の上から、いふ頭がその鉛のやうな眼でみおろした

「てめい、娑婆で何をやって喰込んだのだ」  
「ぬすつとか、人殺しかる宿や非人の座席だ見ればわ

れとも強姦間男かいつてみかるとほりわれ／＼がつばへ通ふたびに此處を通るいゝかわれ／＼が往來するたびにこの野郎たちは踏みでいつた、らうへ打込まれた以上、今更足掻いてもしようがない……とあきらめ胸を軽くした。

「どうするのが」  
「紅毛服にかぎらず、所持の品々下帯のはてまで脱いでこれを着るんだ」  
「いつて非人の着るやうな縲衣を突きつけた。」

洋食 喫茶 宴会

毎度有難うございます

エビフライ  
ピフテキ

女給数名募集

コンパル

平塚前新道通り

TEL・666

|    |    |   |   |   |
|----|----|---|---|---|
| 店主 | か  | 正 | 正 | 正 |
| を  | れる | シ | シ | シ |
| 連  | る  | イ | イ | イ |
| れ  |    | 酒 | 喫 | 食 |
| て  |    | 場 | 茶 | 堂 |
| 行  |    |   |   |   |

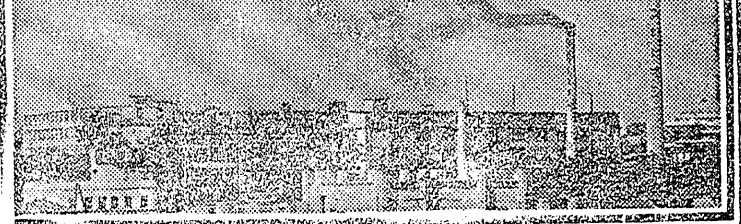
平・田町

レストサロン

電二五三番

# リスク

# はホシ



## 感冒の豫防

ホシ感冒錠は、キニーネを主成分とする強固な薬性を持つた唯一の感冒薬であります。ホシ感冒錠は熱の放散を盛んにし、且熱の發生を減少せしめ、又心臓の働きを良くしますから心臓の弱い人の感冒にも適します。

キニーネは食慾を増進し、又物質代謝作用を強めますから心身疲れたる人、胃腸の弱い人に健康増進の理想的感冒薬であります。

キニーネを主成分とするホシ感冒錠が流行性感冒に特別効果を奏しますのはキニーネがマラリア菌を殺滅せしむると同時にその菌を排除するからであります。

流行性感冒の豫防と治療には是非ホシをお奨め致します。

## ホシ感冒錠

キニーネはマラリア特効薬、解熱薬、強壯薬として世界人の多くその重要性を認めて居ります。キニーネは、熱帯地方が世界生産の約九割を占めて居り、昔國に於ては世界第二位の製産國を示して来たのであります。

然るに、本國が大正五年台湾露城にキニーネ樹を初めて栽培し、同十一年その造林に着手せるキニーネが製造せらるるに至り、長らくはその事業を世界に進展せしむるためその育成に努めて居ります。我日本をして草花木皮を原料とする世界第一の製産國たらしめんとする本國の使命遂行の日には愈々近づきました。

- ホシ風薬 定価 〇〇・五〇
- ホシアスピリン 定価 〇〇・五〇
- ホシ鎮痛解熱薬 定価 〇〇・五〇
- ホシ法痰薬 定価 〇〇・五〇
- ホシニューカロール 定価 〇〇・五〇
- ホシオイピラミン 定価 〇〇・五〇
- ホシ鹽規カンフル錠 定価 〇〇・五〇
- ホシ方鹽刺散 定価 〇〇・五〇